

BCP策定で創業60年の信頼をより強化する —株式会社 第一産業—

企業概要・沿革

1956年 当社は、第一梱包株式会社として「梱包の請負」を営業目的に会社を設立致した。

その後、包装・梱包に関する全資材及び機械器具等を総合して取り扱うことがお客様のご要望にお応えする基であると考え、安全安心な「新しい包装材料、梱包資材の総合販売」を当社の方針とした。これが、お客様に多大なご支援を頂き、社業の進展をもたらした。

1971年会社設立から15年を機に、多様化するお客様のご要望にお応えして「包装全般の企画 設計制作販売」を営業の目的とし、その活動を促進して業域の拡大を計るために 株式会社 第一産業を社名と変更した。

お客様に育てられ2016年11月 創立60年を迎える。今後は共通の責務として、地球環境保全のために、より環境に配慮し、包装形態の簡素化・小型化をはかり天然資源の削減を進めていく。



本社



取扱い製品

当社の特色 1（※サービス・製品等編）

当社の強みは、全国に広がる生産パートナーを持ち、お客様のニーズにお応えできる事である。豊富な商品知識は、一種のコンサル業務的な提案をし、他社との差別化を図っている。当社は、和光市に三階建ての倉庫を持ち、配送システム・製品管理・軽包装の作業を行っている。

創業60年の実績、経験によるノウハウがあり、この強みを生かして、今後も、お客様に喜んで頂けるご提案をしていく。

当社の特色 2（※企業文化／風土編）

当社の経営方針は、オーケストラ型といい中間管理職をもたない、各々が独立したかたちのもとで、責任を持ち仕事に取り組んでいる。フラットで対等な立場をとっており、その中で、お互いに意見を交わし、お客様に満足をお届けできるように努力をしている。

常に健康に気を付け、交通事故のなく、お互いの言動に気を付けながら、宥和をもって仕事に取り組んでいる。



和光倉庫内

BCP策定に取り組んだ理由

お取引様各位のお蔭で、創業60年の信頼を得ることが出来た。今日の自然災害に対しては、積み重ねた信頼を失うことなく、事業を継続していかねければならない。緊急時にいかにお客様に迷惑をおかけないようにするため、BCP策定の必要を感じ、BCP策定について関係各社に相談したところ、板橋区簡易型BCP策定支援事業の存在を知り、インストラクターの方の支援を頂きまして、策定に取り組んだ。



株式会社 第一産業
代表取締役社長
長谷川 二郎

策定にあたり特に注力した点

BCP策定にチェックとなる、自然災害を想定しての訓練である。

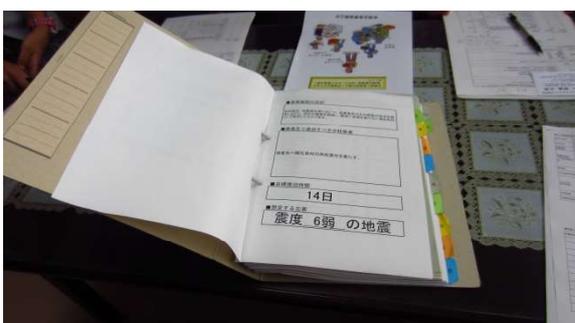
策定したものが、実際どのように利用すればよいか、訓練のシナリオを作成し、時間経過ごとに社長の指示、従業員の行動を確認しながら行った。

従業員の安否確認、取引先との連携等、今後も定期的に見直し、緊急事態に遭遇しても、被害を最小限に抑え、早期復旧できる企業作りに努めていきたい。

BCP策定の感想・効果

BCP策定に取り組むに当たり、資料を集めたが、どのように進めて行くべきかと思っていたので、板橋区簡易型BCP策定は、わかりやすく必要な資料をファイリングしていく事だったので、作業はやり易かった。主要取引先、主要仕入先を選択し、代替仕入先を選定することにより、大切なお得意様にご迷惑をかけないように、事業の内容を見直すきっかけになった。

今回は、地震を想定してのBCP訓練でしたが、あらゆる緊急事態に備えたい。



BCP訓練の様子

事業者情報	
事業者名	株式会社 第一産業
本社所在地	板橋区成増1-7-21
設立	昭和31（1956）年 11月
資本金	2,800万円
従業員数	20名
代表者	長谷川 二郎
Tel	03-3938-7711
URL	http://daiichi-sangyo.co.jp